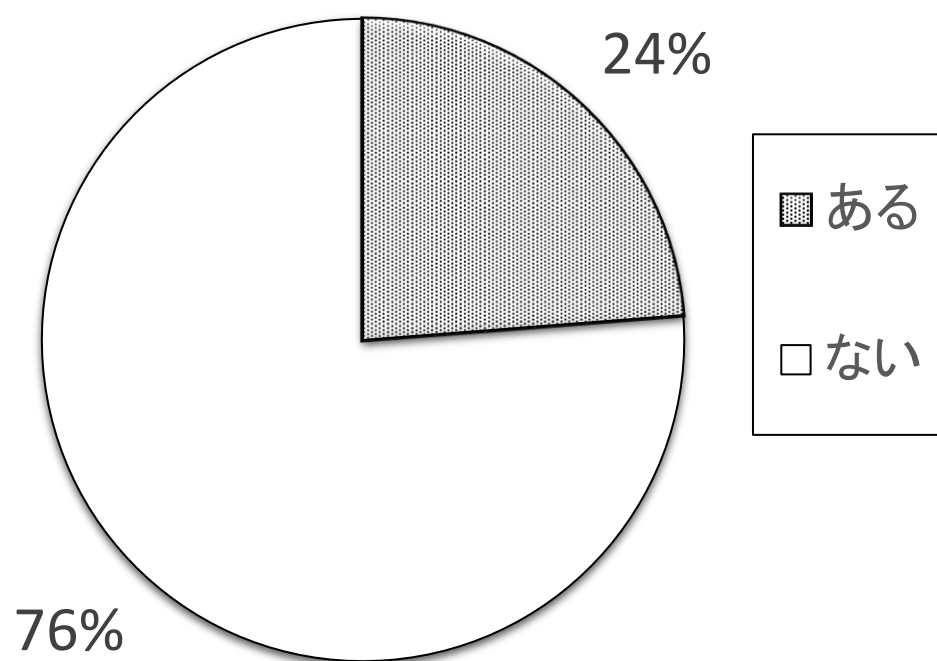
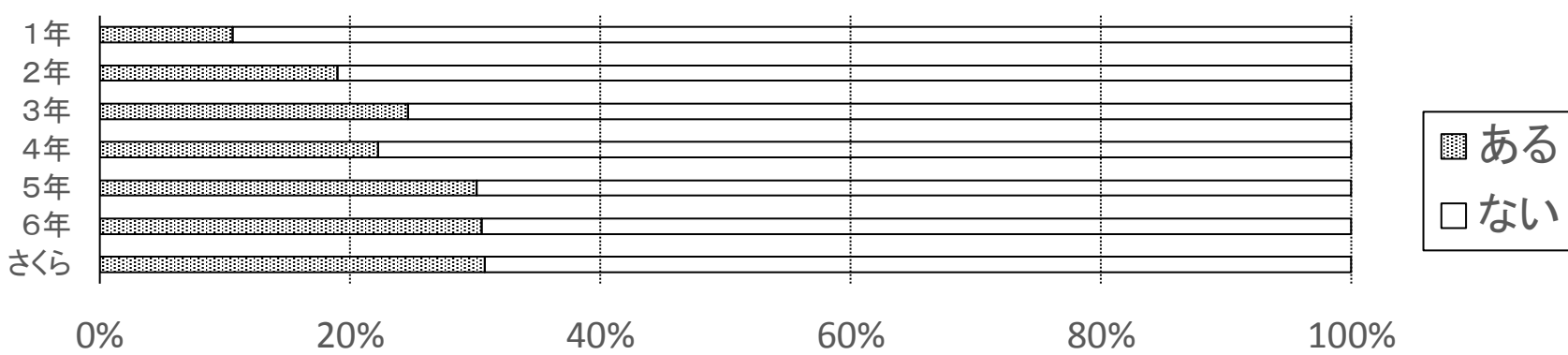


平成28年度 学校生活に関するアンケート結果のまとめ（保護者2）

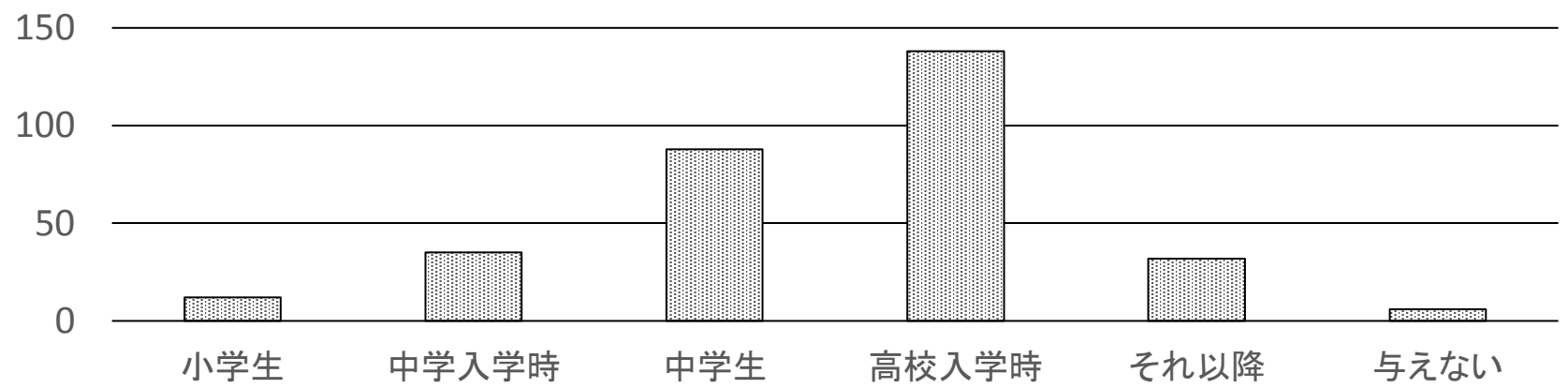
携帯・スマホを持っているか(全体)



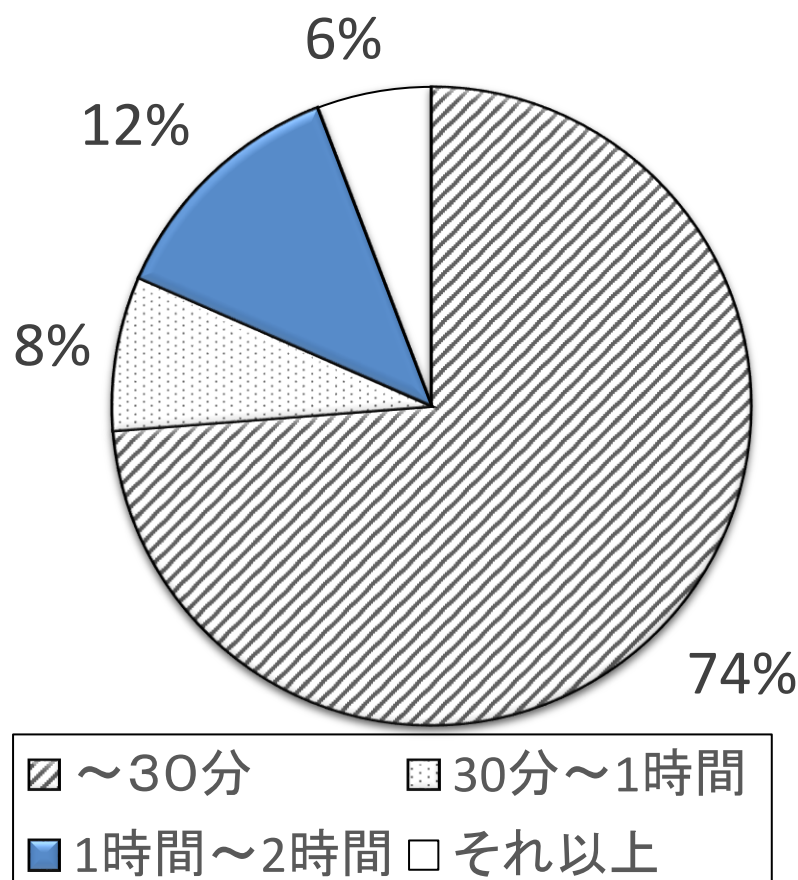
携帯・スマホを持っているか(学年別)



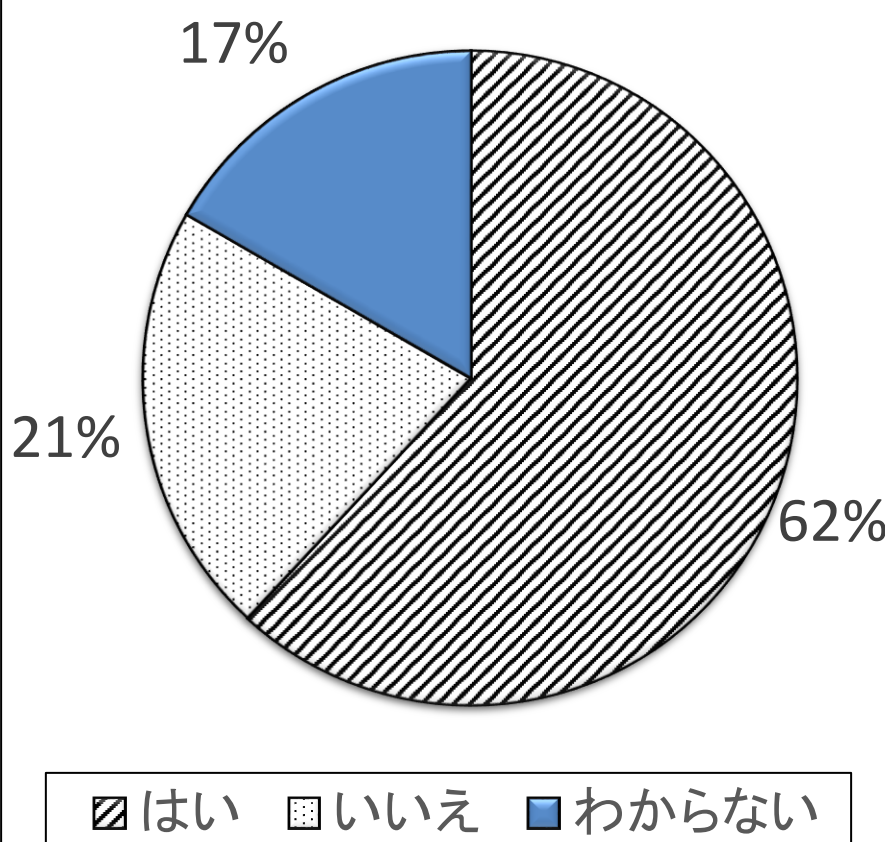
いつ与えるか



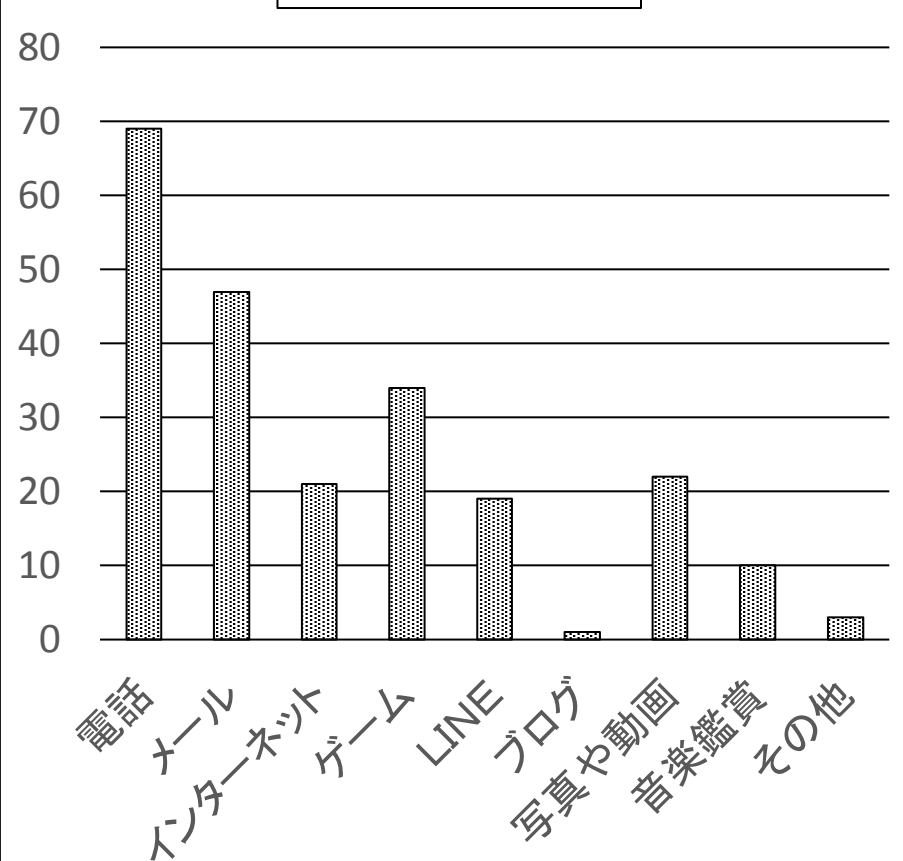
1日の使用時間



フィルタリングサービスの加入



使っている機能



家庭での過ごし方のアンケート結果をまとめました。紙面の都合上、大まかな報告になりますが、家庭での話題にしていただければ幸いです。ぜひ、ご活用ください。

- ☆今回は携帯電話・スマホについて少し詳しく調べてみました。全校児童の携帯電話・スマホの所持率は、24%で、約4人に1人の割合でもっていることがわかりました。この中には、連絡専用のキッズケータイも含まれているので、純粋に携帯電話・スマホの所持率でいうと、もっと下がると思います。学年別に見てみると、おおむね学年が進むほど、少しずつ所持率が上がっていますが、思ったほど大きな差はありませんでした。「小学生の間はもたせない」と決めているご家庭は、学年が進んでも買い与えないので、このような結果になったのではないかと思います。最近の全国調査(2014年度)によると、小学1年生は16%、4年生は31%、6年生は34%でした。雁宿小学校は、全国平均と比べてみても、ほぼ同じであることがわかりました。
- ☆次に、今携帯電話・スマホをもっていない家庭に、「いつ与えようと考えているか」尋ねてみました。小学校在学中に買い与えようと考えている家庭は、ほとんどなく、半数以上が、高校入学以降と考えていることがわかりました。先ほどの全国調査(2014年度)によると、所有率は、中学校2年生で54%、高校2年生では何と96%になります。全国調査の結果でも、中学生の間に買い与えようと考えている家庭は半数程度であり、これも雁宿小学校の傾向とほぼ同じです。中学校に入学して、お子さんが、「みんながもっているからスマホを買って」と言うかもしれませんが、このデータによれば、半分はもっていないことになりますから、参考にしてください。
- ☆1日の使用時間は、4分の3が30分以内で、所有者の多くは、連絡用として保持していて、ほとんど使用していないことがわかりました。一方で、1時間から2時間が12%、2時間以上も6%いました。使っている機能から考えて、ゲームやインターネット、友達とのメールやLINEで、日常的に使用している児童もいることが考えられます。
- ☆フィルタリングサービスへの加入は、半田市内の小中学校の生徒会・児童会が提唱している「ネット五原則」の一つです。スマホや携帯を買うときは、フィルタリングサービスを含め、家庭でのルールをしっかりと話し合われることをお勧めします。
- ☆今年も、学校行事について、いろいろとご意見をいただきました。かりやど祭りに関しては、伝統があり独自の行事なので、今後もぜひ続けてほしいという意見が多数でした。一方、保護者の負担が大きいという意見もあり、PTA役員会でも、お手伝いの募集について話し合っている最中です。また、本校の特徴であるなかよし団活動にも肯定のご意見を多数いただきました。児童数の減少で、来年度は団の数が10に減りますが、活動は継続していきますので、引き続き見守っていただけることをお願いします。みなさまからいただいた貴重なご意見を参考によりよい雁宿小をつくっていきます。ご協力をお願いします。